

平成29年度(後期) いじめ調査結果のお知らせ



(1)児童アンケートから

(件数)

番号	いじめの内容	されている (後期)	解消	継続 指導中
1	冷やかされたり、からかわれたりする	7	7	0
2	悪口やいやなことを言われる	20	20	0
3	こわい言葉やおどかさ言葉を言われる	3	3	0
4	友達や周りの人から仲間はずれにされたり、しらんぷりしたりされる	9	9	0
5	わざと軽くぶつけられる	2	2	0
6	遊ぶふりをして軽くたたかれたり、けられたりする	2	2	0
7	ひどくぶつけられたり、たたかれたり、けられたりする	4	4	0
8	お金を持ってこいと言われたり、おごるように言われたりする	0	0	0
9	持ち物をよこせと言われる	0	0	0
10	お金や持ち物をかくされたり、ぬすまれたりする	1	1	0
11	お金や持ち物をこわされたり、捨てられたりする	0	0	0
12	いやなことやはずかしいこと、あぶないことをされたりむりやりさせられたりする	3	3	0
13	パソコンや携帯電話・スマートフォンなどで、悪口を書かれたりいやなことをされたりする	0	0	0
14	上記以外でいじめられていると感じること	5	5	0
合 計		56	56	0

(2)保護者アンケートから

◆「いじめ」の行為を受けていると回答した数・・・・・・・・・・ 17 (解消17)
 主な記載内容 <気になることや要望等>

- ・ 普段のお友達とのかかわりの中で、些細な言葉に傷ついたりしているようだ。なかなか細かい状況までわかってあげられず親として心配な時がある。先生と共有することがもっとできるといい。
- ・ 子ども同士でのコミュニケーションはとても雑に感じている。日頃の会話や関わりの中で自分も相手も学んでいきながら社会性を身につけさせて欲しい。
- ・ 冷やかされたり仲間外れにされたりするとどんな気持ちになるか、道徳の時間などに取り上げてもらい、いじめをなくそうという意識を高めてほしい。
- ・ 親しみを込めて言っているのかもしれないが、本人はあだ名で呼ばれることを嫌がっている。なかなか言い返すことができずにいるので、もう少し強くなってもらいたいと思っている。
- ・ 高学年になり言葉のいじめが心配。「死ね」と言われたのを本人から聞いて悲しい気持ちになった。まだ親に話してくれるのでいいが、一人で悩んでいたら大変だ。「生と死」について考えさせて欲しい。
- ・ 学校では、「やった、やられた」に対する対応だけでなく、強い心とトラブルに遭った時に自分でどう向き合い解決していけるかを教えて欲しい。もちろん家庭でも考えていきたい。
- ・ 定期的なアンケートがあり相談しやすい体制で安心だ。また、学級だけでなく違うクラスや学年を超えて仲良くしている五小の環境がとてもいい。

校内いじめ防止対策委員会で、一つ一つの事案について検討し、全職員で児童の悩みやストレスを払拭するべく指導方針を共有化し、児童との面談や学級活動を通して指導してきました。また、保護者の皆さんから「いじめがある」と回答いただいた事案についても、関係する保護者に状況を説明するとともに、子ども同士わだかまりのないように指導してきました。

現段階での解消件数は上記のとおりです。今後もアンケート期間に限らず、いじめにつながる行為や言動等、何か気になるようなことがありましたらいつでもお知らせ願います。

